

令和 7 年度
九州大学大学院システム生命科学府
博士課程学生募集要項

(一般選抜第 2 次・社会人特別選抜)

目 次

(ページ)

【一般選抜第 2 次】	1 ～ 3
【社会人特別選抜】	4 ～ 5
【一般選抜第 2 次・社会人特別選抜共通事項】	6 ～ 18
【一般選抜第 2 次・社会人特別選抜提出書類】	19 ～ 28

	日 程
出 願 期 間	令和 7 年 1 月 6 日 (月) ～ 1 月 10 日 (金)
試 験 日	令和 7 年 2 月 4 日 (火)
合 格 発 表	令和 7 年 2 月 14 日 (金)

【一般選抜第2次】

1. 専攻及び募集人員

令和7年度 第2次入学試験を実施する専門分野・教育グループは以下のとおり

専攻	募集人員	専門分野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学

専門分野	教育グループ
生命情報科学	生命情報処理学、生命情報電子工学、生命情報解析学、 認知神経科学
生命工学	生命プロセス工学、生命物理工学、生体機能工学、 先端医療デバイス、細胞制御工学
生命医科学	細胞工学、細胞生物学、情報生物学、ゲノム医科学、 統合オミクス、メタボロミクス、トランススケール構造生命科学 バイオメディカル情報解析分野
生物科学	分子細胞生物学、分子遺伝学、植物多様性ゲノム学、 染色体機能学、時間生物学、生態科学、 数理生物学、幹細胞生物学、進化遺伝学、海洋生物学

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

※ 2次募集を行わない教育グループ、教員があるため、13から18ページを参照の上、必ず出願前に志望する指導教員に確認すること。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することによ

- り当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けた者において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに22歳に達した者
- (11) 令和7年3月31日までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学府において認めた者
- ① 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

※出願資格（9），（10）または（11）により出願しようとする者は出願に先立ち、「7. 出願資格の事前審査」に記載する事前審査を受けなければならない。

3. 選 抜 方 法

- (1) 選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
- (2) 学力検査は筆記試験及び口述試験により行う。
英語については、受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する。

4. 学 力 検 査 科 目

専門分野・教育グループ		試 験 科 目		試 験 日 時
生命情報科学	生命情報処理学 生命情報電子工学 生命情報解析学 認知神経科学	専門科目 (筆記試験)	詳細に関しては希望する指導教員に問い合わせること	2月4日(火)
		英 語	受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する	
		口述試験		
生命工学	生命プロセス工学	専門科目 (筆記試験)	生命プロセス工学	2月4日(火)
		英 語	受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する	
		口述試験		

生命工学	生命物理工学 生体機能工学 先端医療デバイス 細胞制御工学	専門科目 (筆記試験)	受験者の既習項目に配慮する。詳細に関しては希望する指導教員に問い合わせること。	2月4日(火)
		英 語	受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する	
		口述試験		
生命医科学 生物科学		英 語	受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する	2月4日(火)
		口述試験	30分程度の口頭試問 受験者の志望理由や卒業論文(またはそれに類するもの)に関する発表(15分程度)に対する質疑応答で行われる	

※詳細については、願書受付後に文書により通知する。

※TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTに関する注意事項

- ①TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTは、公式認定証が発行される正式な試験を受験すること。
(TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。)
- ②成績証明書は、受験者が自分に最も有利と考えるものを1部提出すること。
- ③2023年2月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書を提出すること。
- ④試験当日に成績証明書の原本を持参すること。願書と共に提出した成績証明書と異なる成績証明書の原本を持参した場合は、試験当日に提出した成績証明書をもとに採点する。
- ⑤成績証明書のコピーを提出していない者が、試験当日に成績証明書の原本を持参しなかった場合及び指定している試験以外の成績証明書を持参した場合は、筆記試験、口述試験の受験を認めず、不合格とする。

【社会人特別選抜】

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員	専門分野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業、官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の推薦を受けた者

出願に当たっては、必ず希望する指導教員に連絡すること。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けた者において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに22歳に達した者
- (11) 次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学府において認めた者
 - ① 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

※出願資格（９）、（１０）または（１１）により出願しようとする者は出願に先立ち、「７．出願資格の事前審査」に記載する事前審査を受けなければならない。

3. 選 抜 方 法

- （１）選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
- （２）学力検査は筆記試験及び口述試験により行う。
英語については、受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する。

4. 学 力 検 査 科 目

専 門 分 野	試 験 科 目		試 験 日 時
生命情報科学 生命工学	専門科目 (筆記試験)		2月4日（火）
	英 語	2023年2月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明 書をもとに採点する	
	口述試験		
生命医科学 生物科学	専門科目 (筆記試験)		2月4日（火）
	英 語	2023年2月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明 書をもとに採点する	
	口述試験		

※詳細については、願書受付後に文書により通知する。

※TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTに関する注意事項

- ①TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTは、公式認定証が発行される正式な試験を受験すること。
(TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。)
- ②成績証明書は、受験者が自分に最も有利と考えるものを1部提出すること。
- ③2023年2月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書を提出すること。
- ④試験当日に成績証明書の原本を持参すること。願書と共に提出した成績証明書と異なる成績証明書の原本を持参した場合は、試験当日に提出した成績証明書をもとに採点する。
- ⑤成績証明書のコピーを提出していない者が試験当日に成績証明書の原本を持参しなかった場合及び指定している試験以外の成績証明書を提出した場合は、筆記試験、口述試験の受験を認めず、不合格とする。

【一般選抜第2次、社会人特別選抜 共通事項】

5. 出 願 手 続

(1) 出願方法

出願しようとする者は下記の書類を取りそろえ、願書受付期間内に提出先へ持参または郵送すること。郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒表面に「九州大学大学院システム生命科学府博士課程（第2次）出願書類在中」または「九州大学大学院システム生命科学府博士課程（社会人）出願書類在中」と朱書すること。

(2) 提出書類

	提出書類	留 意 事 項
1	入学願書	本学所定の用紙にもれなく記入すること。 【一般選抜第2次用または社会人特別選抜用】
2	受験票	本学府所定の用紙を使用すること。 【一般選抜第2次・社会人特別選抜共通】
3	成績証明書	出身学校長または学部長が証明したもの。 ※出願資格（10）で出願する者は除く。
4	卒業証明書 または 学位授与証明書	出身学校長（学部長、学府長）が発行又は大学評価・学位授与機構が発行したもの。 ※出願資格（9），（10），（11）で出願する者は除く。
5	志願理由書	本学府所定の用紙を使用すること。 【社会人特別選抜のみ】
6	TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBTの成績証明書の写し	TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の公式の成績証明書であること （TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。） 2023年2月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の成績証明書の写しを「TOEIC Listening & Reading Test, TOEFL-iBT 成績証明書（複写）貼付用紙」に貼付して提出すること。 また、2023年4月以降に TOEIC を受験した場合は、デジタル公式認定証を印刷したものを、紙媒体の認定証と同様に原本として受け付ける。 【TOEIC の成績証明証を提出する場合】 ①従来の紙媒体の認定証について 出願時にコピーを提出し、試験当日に原本を持参してください。 ②デジタル公式認定証について デジタル公式認定証を2通印刷し、1通は出願時にコピーとして提出し、もう1通は試験当日に原本として持参してください。 ただし、デジタル公式認定証に記載されている QR コードが読み取れない場合、書類不備とする可能性がある。 <u>願書提出時に成績証明書が間に合わない場合は、「TOEIC Listening & Reading Test , TOEFL-iBT 成績証明書（複写）貼付用紙」下部にある□をチェックし提出すること。</u> <u>いずれの場合も、成績証明書の原本も受験時に持参すること。</u>

7	入学検定料原符 (検定料30,000円)	入学検定料 30,000 円を次の方法により納入し、入学検定料受付証明書貼付台紙を提出すること。 【銀行振込みの場合】 ・本要項に所定の振込依頼書（「九州大学」入学検定料）の太枠で囲まれている記入欄に必要事項を全てボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行へ持参すること。記入の際は本要項に綴込の振込依頼書（「九州大学」入学検定料）の記載例を参照して記入すること。 ・振込みを済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち「九州大学」入学検定料振込金受付証明書（C票）を入学検定料受付証明書貼付台紙の貼付欄に貼付し、住所・氏名・連絡先（TEL）を記入し、出願書類に同封すること。 ※ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできない。なお、三井住友銀行本支店にて振込みする場合の振込手数料は無料となるが、他行から振込む場合は、振込手数料は出願者の負担になる。 ※振込みは「電信扱」に限る。 【コンビニエンスストアによる支払いの場合】 ・振込み方法の詳細については、「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を確認すること。 ・振込みを済ませたら、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の『収納証明書』部分を切り取り、入学検定料受付証明書貼付台紙の入学検定料振込金受付証明書貼付欄に貼付し、住所・氏名・連絡先（TEL）を記入し、出願書類に同封してください。 【クレジットカードによる支払いの場合】 ・振込み方法の詳細については、「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を確認すること。 ・振込みを済ませたら、「照会結果」をプリントアウトし、出願書類に同封すること。 ・入学検定料受付証明書貼付台紙には、住所・氏名・連絡先（TEL）のみを記入し、出願書類に同封すること。 ※振込可能期間は、12月13日（金）～1月10日（金）とするので留意すること。
8	受験票郵送用封筒	封筒（角形2号；縦33.2cm×横24.0cm）に返信用あて先を明記し、郵便切手440円分(定形外+速達料金)を貼る。
9	その他	出願者は、所属長による推薦状（様式自由）を提出することができる。 また、卒業論文、研究調査報告書等の業績を有する者は、それ出願者は、所属長による推薦状（様式自由）を提出することができる。 【社会人特別選抜のみ】

※提出書類3, 4, 5については、日本語または英語で記載されたものを提出すること。
日本語または英語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳および公的な翻訳証明を添付すること。（提出書類5については、公的な翻訳証明は不要）

(3) 出願書類提出先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
九州大学理学部等教務課 学生支援係
(伊都地区ウエスト1号館A棟3階305号室)
電話 (092) 802-4014

6. 願 書 受 付 期 間

令和7年1月6日(月)～令和7年1月10日(金)午後5時まで
(郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。)

7. 出願資格の事前審査

(1) 出願方法

出願資格(9), (10) または (11) により出願しようとする者は、願書を受理する前に出願資格の有無に関する審査を行うので、次により書類を取りそろえ事前審査受付期間内に提出すること。郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「九州大学大学院システム生命科学府博士課程(第2次)事前審査申請書類在中」又は「九州大学大学院システム生命科学府博士課程(社会人特別選抜)事前審査申請書類在中」と朱書すること。

(2) 事前審査に必要な書類

出願資格(9) または (10) により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙)
- ② 学校教育等履歴書(本学府所定の用紙)
- ③ 最終出身学校の成績証明書
- ④ 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明できる書類(例: 研究論文、特許公報、英語能力の証明書、各種資格取得証明書、国際的活動経験や実務経験を証明する書類等)
- ⑤ 志望理由書(書式自由、A4版用紙を使用し、1000字程度で作成すること)
- ⑥ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号; 縦23.5cm×横12.0cm)にあて先を明記し、郵便切手110円分を貼っておくこと)

※③, ④については、日本語または英語で記載されたものを提出すること。

日本語または英語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳および公的な翻訳証明を添付すること。

出願資格(11) により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙)
- ② 出身大学長(学部長)が証明する成績証明書
- ③ 志望理由書(書式自由、A4版用紙を使用し、1000字程度で作成すること)
- ④ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号; 縦23.5cm×横12.0cm)にあて先を明記し、郵便切手110円分を貼っておくこと)

※②については、日本語または英語で記載されたものを提出すること。

日本語または英語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳および公的な翻訳証明を添付すること。

(3) 事前審査受付期間

令和6年11月5日（火）～令和6年11月8日（金）午後5時まで
（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。）

（4）事前審査受付場所

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
九州大学理学部等教務課 学生支援係
電 話 （092）802-4014

（5）事前審査の通知

事前審査の結果は、令和6年11月25日（月）までに本人宛に通知する。

8. 合 格 発 表

令和7年2月14日（金）10時に、九州大学伊都キャンパスウエスト1号館C棟2階のメインエントランスに掲示するとともに、合格者には本人宛に文書で通知する。また、大学院システム生命科学府のホームページ（<https://www.sls.kyushu-u.ac.jp>）にも合格者の受験番号を掲載する。（期間は2週間程度。）なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

9. 入 学 予 定 日

令和7年4月1日

10. 入 学 料 及 び 授 業 料

入 学 料：282,000円（予定）

授 業 料：267,900円〔年額535,800円〕（予定）

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されるので留意すること。

11. 注 意 事 項

- （1）願書等の提出書類については、システム生命科学府HPで配布しているPDFデータを片面印刷して使用すること。
- （2）願書受理後の記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。
- （3）試験会場等の詳細については、受験票送付時に通知する。
- （4）受験票が1月31日（金）まで未着の場合は、理学部等教務課学生支援係に申し出ること。
- （5）本学府では、入学時に希望した指導教員を変更することは認められないため、受験する際には、志望する「教育グループ」及び「指導教員」を熟考の上、決定すること。
- （6）本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けている。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のできるだけ早い時期に理学部等教務課学生支援係まで、連絡すること。

12. 出 願 書 類 に お け る 個 人 情 報 の 取 り 扱 い に つ い て

出願書類に記載の個人情報、は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用する。

- ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用する。
- ② 成績証明書を、1年次における授業料免除等の就学支援業務で利用する。
- ③ 出願書類に記載の個人情報を、個人が特定できないかたちで、本学における入学者選抜に

関する統計調査・研究に利用する。

出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【問合せ及び願書請求・提出先】

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 7 4 4

九州大学理学部等教務課 学生支援係

(伊都地区ウエスト 1 号館 A 棟 3 階 3 0 5 号室)

電 話 (092) 802-4014

F a x (092) 802-4016

E-mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院システム生命科学府の学生受入方針について

(アドミッション・ポリシー)

【求める学生像】

医歯薬学系分野または理農工学系分野での基礎学力を有し、システム生命科学の研究に取り組む意欲を有する学生を受け入れる。なお、本学府が設置する社会人枠には、企業や民間の研究機関等に勤務している者で、本学府での教育研究での機会を希望する者を受け入れる。また、上記の基礎学力を有する海外からの留学生を受け入れる。

本学府での修学を目指す学生には次のことが求められる。

- ・未知の現象や未解決の課題に対する好奇心
- ・新たな生命科学領域に挑戦する積極性
- ・異分野の領域の学習・研究に対する意欲
- ・真理探究への情熱と忍耐力
- ・生命に関する教養・倫理観

【入学者選抜の基本方針（選抜方式、選抜基準等）】

- ・専門科目、外国語、面接その他必要な審査を行う。面接では、知識、技術能力、適性、研究計画等、多面的に評価する。
- ・社会人特別選抜については、現職の研究者、技術者等の職歴、職務内容、研究計画等を考慮する。
- ・外国人留学生を対象とした国際コース、学部3年次在学生特別選抜入試、および外国人留学生特別選抜については、知識、技術能力のみならず英語または日本語でのコミュニケーション能力、研究計画等についても考慮する。

九州大学大学院システム生命科学府概要

○教育の目的について

近年の生命科学は実験・計測機器の高度化により、膨大かつ詳細な情報を得ることで飛躍的な進展を遂げている。しかしながら、このような機器や解析法の開発、ならびにそこから得られる膨大な情報から重要な意味を抽出する作業を旧来の生物学、医学、農学分野の研究のみで行うには限界があり、情報科学および工学分野の理論と技術が不可欠である。システム生命科学府では、生物学、医学、農学、情報科学、工学の諸分野を横断的に融合した学際的な教育研究を行うことで、社会の多様な要請に応えうる独創性と柔軟性に富み、高度な能力と広い学識を備えた先端的研究者・教育者ならびに高度な専門職業人を養成する。そのために、本学府では生命情報科学講座、生命工学講座、生命医科学講座、および生物科学講座の4つの講座を置き、大学院教育を実施する。

なお、本学府には通常のエデュケーション課程の他、英語による授業等により学位取得可能なシステム生命科学国際コースを、副専攻として九州大学博士課程教育リーディングプログラムによる決断科学大学院コースを置いている。

○5年一貫制の博士課程について

本学府は前期と後期を区分しない5年一貫制の博士課程である。この課程に5年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、博士論文を提出し、最終試験を受けて合格すると博士の学位が授与される。また、編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施する。

なお、優れた研究業績を上げた者については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。

本学府で授与する学位はシステム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。

○人材の育成について

本学府では、生物科学（医学、農学を含む）と情報科学、工学などの諸科学の融合的教育研究領域としての「システム生命科学」という新しい領域を担う優れた研究者と高度専門職業人の養成を目標としている。このような人材を養成するためには学際的・複合的な専門知識と研究方法の習得が必要であり、前期と後期を区別しない5年一貫制博士課程とするとともに、システム生命科学専攻1専攻としている。そこでは、初年次の講義では学部教育とは異なる分野の基礎的教科の受講を推奨するとともに、2年次後期、および3年次前期には学際開拓創成セミナーⅠ、Ⅱを必修科目として博士論文のテーマ選択へ反映させている。

このようにして、新しい学問体系の構築と既存学問の研究水準の維持・発展を兼ね合わせた学位授与システムを確立している。編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施している。なお、優れた研究業績を上げた場合については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。本学府で授与する学位は、システム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。また、2年修了時には所定の単位を修得し修士論文を提出し、最終試験を受けて合格すると修士の学位が授与される。修了生は、生物科学と情報科学・工学の最先端技術と理論の融合によって生まれる新しい分野、システム生命科学を担う研究者として大学等や国公立研究機関、民間企業研究部門において活躍するとともに、システム生命科学の技術を基盤にした専門職業人という進路をとっている。

教育研究内容一覧

専門分野	担 当 教 員 名		研 究 内 容
生命情報科学	教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 准教授 准教授 准教授	鈴木 英之進 伊良皆 啓 治 内 田 誠 一 林 健 司 興 雄 司 平 川 英 樹 ヨハシ ローレンス 吉 田 寛 岡 本 剛 手 老 篤 史	情報科学, 統計科学の理論体系を駆使して, ゲノム解析ならびに生命の基本原理解析に関する教育研究を行うことによつて, 生命機能の解明とその医療応用を目指す。そのため, 体系化された生命情報データベースを基にして, 知識発見, 学習機能, 推論機能, センシング, モデリング, モデル化・シミュレーションのためのアルゴリズム開発手法とそのプログラミング技術, それらを統合した高速・高効率・高信頼で実行可能な統合計算機システムの構築と運用方法について教育研究する。
生命工学	教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	* 上 平 正 道 片 山 佳 樹 石 田 謙 司 工 藤 奨 荒 田 純 平 片 倉 喜 範 水 本 博 岸 村 顕 広 森 健 ** 岡 部 弘 高 沼 田 倫 征	動物培養細胞を利用した有用タンパク質等の生産理論の確立, 抗老化・抗生活習慣病を目指した新規創薬・機能性食品の分子設計に関する教育研究を行う。また, 細胞・生体組織の力学的・熱工学的挙動の解明や培養技術の開発, 各種再生臓器に必要な生体親和性・生分解性に富む高分子材料ならびに生体用バイオセラミックス, 複合材料の開発および人工臓器の開発のための教育研究を行う。さらに, 分子レベルでの治療を可能とするナノテクノロジー技術, バイオイメーjing, ナノ診断, 光応用診断などの先端生体計測の開発と複雑系的手法を取り入れた生命システム解明に関する教育研究を行う。
生命医科学	教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	近 藤 久 雄 池ノ内 順 一 須 山 幹 太 久保田 浩 行 馬 場 健 史 大 川 恭 行 落 合 博 稲 葉 謙 次 長 崎 正 朗 馬 場 弘 紀 嶋 田 睦 和 泉 自 泰 原 田 哲 仁 渡 部 聡	ヒトのゲノム情報から見た, 生物学的多様性の解析, 生体維持機構の解析, 多因子性疾患・難治性疾患の病因・病態解析, 治療・予防法の開発等を行うために, ヒト生物学に関する膨大なデータと医学的知識を統合し, ゲノム科学を基礎に据えた情報科学, 工学, 生物資源科学との有機的な連携を図ることによって, 疾患感受性や正常形質などのヒトの個体差に関わる重要問題を解明するための教育研究を行う。
生物科学	教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 教 授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 講 師 講 師 講 師 講 師 講 師	齋 藤 大 介 田 村 茂 彦 石 原 健 高 橋 達 郎 立 田 晴 記 濱 村 奈津子 松 尾 直 毅 佐 竹 暁 子 太 田 訓 正 手 島 康 介 寺 本 孝 行 祢 亘 淳太郎 藤 原 英 二 仁田坂 太 一 伊 藤 太 一 細 川 貴 弘 准教授 佐々木江理子 准教授 早 川 敏 之 准教授 新 垣 誠 司 講 師 熱 田 勇 士 講 師 林 良 樹 講 師 中 條 信 成 講 師 山 脇 兆 史 講 師 松 沢 健 司 講 師 楠 見 健 介	高等生物の基本的な生命現象を解明するために, 動物及び植物の基本構造単位である真核細胞について, ゲノム遺伝子の発現制御, タンパク質の生合成・構造・機能制御, 細胞内顆粒の動的存在状態と制御, 細胞としての統合, 細胞間の相互作用等について教育研究する。さらに, 高次生命現象としての発生, 分化, 代謝, 神経システムの働き, 遺伝子から見た行動, 学習, 外部環境への適応等について縦断的な教育研究を行う。 動物の環境からの情報受容と応答, 植物の光などの環境情報の受容と応答, 個体の繁殖・社会生態等にもみられるさまざまな適応戦略, 海洋などの群集を対象とした群集構造の成立と存続, 集団遺伝学的手法を用いた遺伝子レベルでの進化や多様性維持機構, さらににはこのような複雑な生命現象の数理生物学的解析などについて, 分子・細胞・個体・集団の各レベルを統合した教育と研究指導を行う。これらの教育研究により, 動植物の環境への応答メカニズム, 生態学的手法に基づいた生物と環境との相互作用, 進化的視点に基づいた生物多様性維持機構などの先端的研究に貢献できる人材を養成する。

*は2025年3月末日定年退職予定

**は2026年3月末日定年退職予定

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生 命 情 報 科 学	★生命情報発見学	★教 授・鈴木 英之進	データマイニング, 機械学習, 発見ロボット https://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html
		★准教授・吉田 寛	多変数多項式, 多項式生命モデル/Polynomial-life model, 動的恒常性維持, 再生場の理論
	生命情報処理学	教 授・伊良皆 啓治	脳機能イメージング, 脳情報処理, 脳機能計測, 生体情報計測, ブレインコンピュータインターフェイス, 生体医工学 https://bie.inf.kyushu-u.ac.jp
		准教授・岡本 剛	匂いの脳科学研究, 快適性の脳科学的評価, ニューロフィードバック技術, 焚き火の脳科学研究 https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/
	★生命情報数理学	★教 授・内田 誠一	バイオイメージインフォマティクス, 画像情報学, パターン認識, 機械学習, 実データ解析 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/
		★准教授・手老 篤史	数理モデル, 行動制御, 認識, 単細胞, 研究者学
	生命情報電子工学	教 授・林 健司	匂いイメージング, 有機電子デバイス, ナノ構造分子素子センサ https://o.ed.kyushu-u.ac.jp/
		教 授・興 雄司	バイオ光センシング, レーザー, 光機能材料, 分光分析計測 https://www.laserlab.ed.kyushu-u.ac.jp/
学	生命情報解析学	教 授・平川 英樹	ゲノム, トランスクリプトーム, 多型, アノテーション, バイオインフォマティクス https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/mogt/study.html
	認知神経科学	教 授・ヨハン ローレンス	意思決定, 認知科学, 生命倫理, 視覚的認知, 行動分析 https://dubitopress.blogspot.jp/

★印のついた教育グループ, 指導教員は, 一般選抜第2次募集をしないので, 志望しないこと。

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生 命 工 学	生命プロセス工学	教 授・上平 正道	医用生体工学, 組織工学, 遺伝子工学, ウイルス工学, トランスジェニック動物 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab3/index.html
		准教授・水本 博	ハイブリッド型人工肝臓, 再生医療, 幹細胞, 細胞組織体, 動物細胞培養 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab6/sls/
	★機能組織化学	★教 授・片山 佳樹	細胞内情報伝達, 薬物送達システム, バイオチップ, 生体・医用材料, 生体計測, バイオイメージング https://sites.google.com/view/katayamalab
		★准教授・岸村 顕広	ソフトマテリアル, 薬物送達システム, 超分子化学, ナノ生理学, 濃縮物質系化学, ナノリアクター https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/
		★准教授・森 健	ソフトマテリアル, 薬物送達システム, 生体・医用材料, 細胞内情報伝達, 免疫治療, 再生医療 https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/
	生命物理工学	教 授・石田 謙司	有機/高分子超薄膜、フレキシブルデバイス、触覚・赤外線 センサ、生体発電 https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/
		★准教授・岡部 弘高	バイオフィトン, 活性酸素, 光応用生体計測, ソフトマター アクチュエータ, バイオミメティックス, 生物物理 https://www.okabe.ap.kyushu-u.ac.jp/index-j.html
	生体機能工学	教 授・工藤 奨	バイオメカニクス, バイオトランスポート, バイオマテリアル, 細胞力学 https://www.bfe.mech.kyushu-u.ac.jp/
工 学	先端医療デバイス	教 授・荒田 純平	機械工学, ロボット工学, メカトロニクス, 医療ロボット, 遠隔操作ロボット https://amd.mech.kyushu-u.ac.jp/
	細胞制御工学	教 授・片倉 喜範	アンチエイジング食品, 抗老化, 食品機能, 動物細胞工学 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/crt/
	★構造分子生物学	★准教授・沼田 倫征	CRISPR-Cas系, 非コードRNA, トキシン-アンチトキシン系, DNAの複製と修復

★印のついた教育グループ, 指導教員は, 一般選抜第2次募集をしないので, 志望しないこと。

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生 命 医 科 学	細胞工学	教 授・近藤 久雄	細胞内小器官（オルガネラ）の形成と維持、オルガネラの細胞周期変化、細胞内膜融合、小胞体とゴルジ体、オルガネラの試験管内再構成系 https://www.cellbiology.med.kyushu-u.ac.jp/Kondo-Lab.html
	細胞生物学	教 授・池ノ内 順一	上皮細胞、細胞接着構造、細胞膜 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~taisha/
	★性差生物学	★准教授・馬場 崇	核内受容体による代謝制御、雌雄生殖腺の発生、クロマチン構造の性差 https://www.med.kyushu-u.ac.jp/seisaseibutu
	情報生物学	教 授・須山 幹太	バイオインフォマティクス、情報生物学、遺伝子発現制御、がんゲノム、疾患ゲノム、エピゲノム、分子進化 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/bioinfo/
	ゲノム医科学	准教授・柴田 弘紀	人類遺伝学、集団遺伝学、進化医学、ゲノム多様性、精神・神経疾患 https://www.gen.kyushu-u.ac.jp/~byouin/
	統合オミクス	教 授・久保田 浩行	統合オミクス、システム生物学、数理モデル、計算機シミュレーション、ホメオスタシス、シグナル伝達、代謝 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/omics/
	メタボロミクス	教 授・馬場 健史	メタボロミクス、メタボローム、代謝、分析化学、疾患解析、毒性解析、食品機能解析 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/metabolomics/
		准教授・和泉 自泰	メタボロミクス https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/metabolomics/
	★トランスクリプトミクス	★教 授・大川 恭行	エピゲノム、エピジェネティクス、転写、遺伝子発現制御、細胞分化、トランスクリプトミクス、クロマチン、ゲノム、バイオインフォマティクス、骨格筋分化
		★准教授・原田 哲仁	エピゲノム、エピジェネティクス、クロマチン構造解析、細胞分化、トランスクリプトミクス https://tx.bioreg.kyushu-u.ac.jp/
	★遺伝子発現動態学	★教 授・落合 博	転写、遺伝子、高次ゲノム構造、多能性幹細胞
	トランススケール構造生命科学	教 授・稲葉 謙次	クライオ電子顕微鏡、タンパク質品質管理、レドックス、カルシウム、亜鉛、細胞恒常性維持
		准教授・渡部 聡	カーゴ受容体、シャペロン、金属タンパク質、膜タンパク質、クライオ電子顕微鏡 結晶構造解析、
		准教授・嶋田 睦	構造生物学、X線結晶構造解析、エンドサイトーシス、細胞骨格、シグナル伝達 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/vsb/index.html
	バイオメディカル情報解析分野	教 授・長崎 正朗	メディカルインフォマティクス、空間オミクス情報解析、大規模ゲノムコホート解析、ヒトゲノム情報解析、ヒトオミクス情報解析、システム生物学、上皮細胞、細胞接着構造、細胞膜長鎖型シークエンス解析、大規模情報解析 https://nagasakilab.csml.org/

★印のついた教育グループ、指導教員は、一般選抜第2次募集をしないので、志望しないこと。

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生 物 科 学	★動物発生生物学	★教 授・齋藤 大介	発生生物学, 始原生殖細胞, 生殖工学, 鳥類, 細胞移動 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/
		★講 師・熱田 勇士	四肢発生, リプログラミング, 3次元培養, 胸骨発生 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/
		★講 師・林 良樹	発生生物学、生殖系列、幹細胞、エピゲノム、細胞内代謝 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/
	★細胞機能学	★准教授・寺本 孝行	線虫 <i>C. elegans</i> , 神経ネットワーク, 蛍光イメージング, カルシウムイオン, マグネシウムイオン https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
		★講 師・中條 信成	発生生物学, アフリカツメガエル, 細胞周期 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
		★講 師・山脇 兆史	昆虫, カマキリ, 運動制御, 神経行動学, 神経回路 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
	★植物分子生理学	★准教授・祢垣 淳太郎	順遺伝学, 気孔, 陰イオンチャネル, 転写因子, 葉緑体 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plant/
	分子細胞生物学	教 授・田村 茂彦	ペルオキシソーム欠損症, タンパク質複合体, 病因遺伝子, オルガネラ恒常性, プロテインキネシス https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~molcellbiol/
	★脂質細胞生物学	★講 師・松沢 健司	細胞接着, 集団細胞運動, 細胞間コミュニケーション, シグナル伝達 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~taisha/
	分子遺伝学	教 授・石原 健	線虫 <i>C. elegans</i> , 行動遺伝学, 情報処理の分子メカニズム, 嗅覚と行動可塑性, 体内環境による行動制御 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~bunsiide/
		准教授・藤原 学	行動, 神経可塑性, 感覚回路, 遺伝学, カルシウムイメージング, 光遺伝学, 線虫
	染色体機能学	教 授・高橋 達郎	DNA修復, クロマチン, ミスマッチ修復, 染色体接着, 相同組み換え, 染色体複製, ツメガエル https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~chromosome/
	植物多様性ゲノム学	准教授・仁田坂 英二	アサガオ, 形態形成, トランスポゾン, ナショナルバイオリソースプロジェクト, 系統保存, 遺伝学, 変異体 https://mg.biology.kyushu-u.ac.jp/
		★講 師・楠見 健介	イネ <i>Oryza sativa</i> , 植物生理, 環境応答, 光合成, 葉緑体, 炭素・窒素バランス https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plantgenomics/

★印のついた教育グループ, 指導教員は, 一般選抜第2次募集をしないので, 志望しないこと。

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生 物 科 学	時間生物学	准教授・伊藤 太一	時間生物学, 概日リズム, 時計遺伝子, 体内時計, 睡眠
	生態科学	教 授・立田 晴記	進化生態学, 生物測定学, 生物多様性, 野生生物の保全管理, 種分化, 系統地理, 行動 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~ecology/lab/
		教 授・濱村 奈津子	微生物生態学, 微生物地球科学, 微生物多様性進化, バイオレメディエーション, 微生物ヒ素代謝, メタゲノミクス https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~microecol/
		准教授・細川 貴弘	進化生物学、行動生態学、昆虫学、微生物学、共生
	★行動神経科学	★教 授・松尾 直毅	マウス, 記憶・学習, 神経回路, シナプス可塑性, 遺伝子工学, 行動解析, 神経活動イメージング https://biology.kyushu-u.ac.jp/neuroscience/
	数理生物学	教 授・佐竹 暁子	生態, 環境, 進化, 数理, ゲノム https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~satake/
		准教授・佐々木 江理子	量的遺伝学, ゲノム多様性, エピゲノム, 環境, 適応進化, モデル植物 https://bio-math10.biology.kyushu-u.ac.jp/member/sasaki.html
	幹細胞生物学	教 授・太田 訓正	幹細胞, ニッチ, 多能性, リボソーム, Tsukushi, Akhirin https://kyushu-stemcellbiology.com/ja/
	進化遺伝学	教 授・手島 康介	集団遺伝, 集団ゲノム, 分子進化, ゲノム多様性, 集団史, 適応進化, バイオインフォマティクス, シミュレーション https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/
		准教授・早川 敏之	人類進化, ヒト化の分子基盤, 糖鎖, 霊長類, 精神疾患, 進化医学 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/
	海洋生物学	准教授・新垣 誠司	生態学, 群集, 多様性, 沿岸生態系, 魚類, 潮間帯, サンゴ https://sites.google.com/site/fishcommunityecology/home

★印のついた教育グループ, 指導教員は, 一般選抜第2次募集をしないので, 志望しないこと。

【一般選抜第2次】

令和7年度九州大学大学院システム生命科学府博士課程

入 学 願 書

九州大学大学院システム生命科学府長 殿

貴学府博士課程に入学したいので、関係書類を添えて出願します。

(写真貼付)
(3cm×4cm)

正面上半身、無帽で、
出願前3ヶ月以内に
撮影したもの

受験番号 (※記入不要)		3 S L 2 5 0		学生番号		(本学学生のみ記入)		
ふりがな 氏 名				生年	西暦 年		性別	男・女
英字氏名				月日	昭・平 年 月 日			
希望する 教育グループ				希望する指導教員 ※必ず希望する指導教員に事前に連絡 し、右欄に○をすること。		事前連絡		
本人	現住所	〒 ー				本籍地 (外国人 は国籍)	都・道 府・県	
	受信連絡先	〒 ー TEL () ー E-mail						
保証人	ふりがな 氏 名					続柄		
	現住所	〒 ー TEL () ー						
履歴	学 籍 (高等学校卒業から記入すること)	年 月	高等学校卒業					
		年 月	大学 学部 学科 入学					
		年 月	大学 学部 学科 卒業(見込)					
		年 月						
		年 月						
	職 歴	年 月						
		年 月						

※高等学校卒業以上、現在に至るまで、履歴に空白期間がないよう漏れなく記入すること。

【社会人特別選抜】

令和7年度九州大学大学院システム生命科学府博士課程

入 学 願 書

九州大学大学院システム生命科学府長 殿

貴学府博士課程に入学したいので、関係書類を添えて出願します。

(写真貼付)
(3cm×4cm)

正面上半身、無帽で、
出願前3ヶ月以内に
撮影したもの

受験番号 (※記入不要)		3 S L 2 5 0		本籍地		都・道 府・県	
ふりがな 氏 名		生年		西暦 年		性 別	男 ・ 女
英字氏名		月 日		昭・平 年 月 日			
希望する 教育グループ				希望する指導教員 ※必ず希望する指導教員に事前に 連絡し、右欄に○をすること。		事前連絡	
自 宅	現 住 所	〒 ー					
		TEL () ー					
	受信連絡先	TEL () ー					
	E-mail						
勤 務 先	名 称						
	所 在 地	〒 ー					
		TEL () ー					
履 歴	学 籍 (高等学校卒業から記入 すること)	年 月	高等学校卒業				
		年 月	大学 学部 学科 入学				
		年 月	大学 学部 学科 卒業				
		年 月					
		年 月					
	職 歴	年 月					
		年 月					
		年 月					
年 月							

※高等学校卒業以上、現在に至るまで、履歴に空白期間がないよう漏れなく記入すること。

受 験 票 (令和7年度)

※ 受験番号	3 S L 2 5 0
氏 名	

(写真貼付)
(3cm×4cm)

正面上半身、無帽で、
出願前3ヶ月以内に
撮影したもの

九州大学大学院システム生命科学府博士課程
(一般選抜第2次・社会人特別選抜)

- (注)
- 1. ※欄は記入不要
 - 2. 本票は常に携帯し、試験の際には机上において係員に見えるようにしておくこと。

令和7年度 九州大学大学院システム生命科学府博士課程
志 願 理 由 書

教育グループ		希望指導教員名	
--------	--	---------	--

- (1) 本学府を志願するに至った理由及び大学院で何をやりたいかについて書きなさい。
- (2) 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。

This image shows a full page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, typical of notebook or legal stationery. There are no margins, text, or other markings on the page.

TOEIC Listening&Reading Test・TOEFL-iBT 成績証明書（複写）

貼付用紙

ふりがな 氏 名			
試験形式 (該当するものに ○をつけること)	1. TOEIC Listening & Reading Test 2. TOEFL-iBT		
TOEIC,TOEFL の受験日	年 月 日	TOEIC,TOEFL の受験会場	

(成績証明書の複写 貼付スペース)

- ☐ 成績証明書の交付が願書提出時には間に合わないため、成績証明書（複写）は貼付せず、試験当日に原本を持参します。

(注意) この欄に成績証明書（複写）を貼付した場合も、試験当日に成績証明書の原本を持参すること。
出願時に成績証明書の交付が間に合わない場合は、試験当日に成績証明書の原本を持参することにより、成績証明書（複写）を提出したものとみなす。
その場合は、上記の欄に記入した上で、☐にチェックを入れてこの用紙を提出すること。

入学検定料受付証明書貼付台紙

令和7年度	
志望学府	大学院システム生命科学府
住所	〒 —
氏名	
連絡先（TEL）	
貼付欄	
【銀行振込の場合】 C票（「九州大学」入学検定料振込金受付証明書）を この枠内に貼付すること 【コンビニエンスストアでお支払いの場合】 「入学検定料・選考料 取扱明細書」の『収納証明書』 部分を切り取り、この枠内に貼付すること 【クレジットカードによるお支払いの場合】 支払い終了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と 【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に 同封すること。	

1. 金融機関領収印のないC票は無効です。
2. C票、収納証明書以外の貼付は無効です。
3. 剥がれないように、しっかりと糊付けしてください。
4. 住所・氏名・連絡先（TEL）を必ずご記入ください。

【大学院生】 入学検定料

入学検定料 30,000 円は、次の方法で納付してください。

本要項に綴込みの振込依頼書（九州大学入学検定料）の太枠で囲まれている記入欄に必要事項を全てボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行へ持参してください。（記入の際は本要項に綴込の振込依頼書（九州大学入学検定料）の記載例を参照して記入してください。）
振込みを済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち「九州大学入学検定料振込金受付証明書（C票）を入学検定料受付証明書貼付台紙の貼付欄に貼付し、住所・氏名・連絡先（TEL）を記入し、出願書類に同封してください。

- ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできません。
なお、三井住友銀行本支店にて振込みする場合の振込手数料は無料となりますが、他行から振込む場合は、振込手数料は出願者の負担となります。
- 振込期間は、令和6年12月13日（金）～令和7年1月10日（金）とし、「電信扱」に限ります。

A票

振込依頼書

（「九州大学」入学検定料）

ご依頼日				科目											
令和 年 月 日				電信扱				手数料							
振込先 受取人	三井住友 銀行 福岡支店							金額							円
	預金種目	普通	口座番号	7 1 1 9 2 4 0											円
	(フリガナ) キュウシュウダイガク														
	(おなまえ) 九州大学														
	学府コード														
依頼人（志願者）	氏名（フリガナ）							出納印							
	(おところ) (電話)														

- ※【取扱金融機関へのお願い】
1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
 2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
 3. 振込期間は、令和6年12月13日（金）から令和7年1月10日（金）までです。
 4. 三井住友銀行の本支店での振込は手数料が無料となります。
 5. 学府コード、フリガナは必ず打電してください。
- （取扱金融機関保管）

B票

振込金受取書

（「九州大学」入学検定料）

令和 年 月 日											
金額											円
振込先	三井住友銀行 福岡支店										
受取人	九州大学										
学府コード											
志願者氏名	(フリガナ)										
手数料											
出納印											

（志願者保管）

C票

「九州大学」入学検定料
振込金受付証明書

令和 年 月 日											
金額											円
振込先	三井住友銀行 福岡支店										
受取人	九州大学										
学府コード											
志願者氏名	(フリガナ)										
出納印											

（入学検定料原符裏面貼付用）

【一般選抜第2次・社会人特別選抜】

銀行窓口へ持参された日を記入してください。

A票 振込依頼書

(「九州大学」入学検定料)

ご依頼日		科目			
令和	年	月	日	電信扱	手数料
振込先 三井住友 銀行 福岡支店				金額	300000
振込先	預金種目	口座番号			
普通		7119240			
受取人 (フリガナ) キュウシュウダイガク					
(おなまえ) 九州大学					
学府コード				3	S L
依頼人(志願者) 氏名(フリガナ) (おところ) (電話)					

※【取扱金融機関へのお願い】

1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3. 振込期間は、令和6年12月13日(金)から令和7年1月10日(金)までです。
4. 三井住友銀行の本支店での振込は手数料が無料となります。
5. 学府コード、フリガナは必ず打電してください。

(取扱金融機関保管)

B票 振込金受取書

(「九州大学」入学検定料)

令和	年	月	日
金額	300000		
振込先	三井住友銀行 福岡支店		
受取人	九州大学		
学府コード			3 S L
志願者氏名	(フリガナ)		
手数料			

(志願者保管)

C票 「九州大学」入学検定料 振込金受付証明書

令和	年	月	日
金額	300000		
振込先	三井住友銀行 福岡支店		
受取人	九州大学		
学府コード			3 S L
志願者氏名	(フリガナ)		
出納印			

(入学検定料原符裏面貼付用)

(金融機関で切り離してください)

記載例

志願者の住所、電話番号を記入してください。

志願者の氏名(フリガナ)を必ず記入してください。

この「C票」は「入学検定料受付証明書貼付台紙」の貼付欄に貼付してください。

九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！

<https://e-shiharai.net/>



- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※クレジットカード・Alipay国際決済・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

クレジットカード・Alipay・銀聯でお支払い

VISA, Mastercard, JCB, UnionPay logos.

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

基本情報入力画面で、支払に利用するカードを選択

画面の指示に従い、支払手続を行ってください。

お支払い完了です。下記の手順に従って、申込内容照会結果を印刷してください。

コンビニエンスストアでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7-Eleven logo.

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」（チケット）を受け取ってください。

LAWSON logo.

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppiへ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付（紫のボタン）
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」（受付票）を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart logo.

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポートへ

代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

3 出 願

【クレジットカード・Alipay・銀聯でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封してください。

<注意>

スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金取納出納印」は不要です。

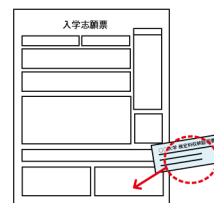


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金取納出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- Alipay、銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。（携帯電話からはお支払いできません）
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

【一般選抜第2次（有職の場合）・社会人特別選抜】

令和 年 月 日

受 験 許 可 書

九州大学大学院システム生命科学府長 殿

所属機関名_____

所属長 職名・氏名 _____ 印

下記の者が、貴学府令和7年度博士課程入学試験を受験することを許可します。

記

所属部課名 _____

職 名 _____

フリガナ
氏 名 _____

(生年月日 昭和 ・ 平成 年 月 日生)

(注) 大学から所属機関へ照会する場合の連絡先及び電話番号

--

令和 年 月 日

九州大学大学院システム生命科学府長 殿

(申請者)

大学名 (または、最終学校名)

学部名 _____

学科名 _____

現住所 〒 _____

ふりがな

氏 名 _____

連絡先電話番号 _____

出願資格事前審査申請書

このたび貴学府博士課程入学試験に出願するに先立ち、出願資格の事前審査を受けたく、関係書類を添えて申請いたします。

希望する教育グループ _____

希望する指導教員 _____

令和7年度 九州大学大学院システム生命科学府

学校教育等履歴書

氏 名	生年月日	年	月	日生
-----	------	---	---	----

【 学 歴 】

学 校 名 お よ び 所 在 地		正 規 の 修 学 年 数	入 学 及 び 卒 業 年 月 日	学 位 ・ 資 格
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	
学校名			入 学	
所在地		年	卒 業	

注) 小学校から記入すること。
上記の欄に書ききれない場合には、別途、A4の用紙に記入して添付すること。

【 職 歴 】

勤 務 先	職 務 内 容	勤 務 時 間
		自 至
		自 至
		自 至

注) 虚偽の事項を記載し、または当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。